

## 新冠町ゼロカーボンシティ宣言

私たちのまち新冠町は、日高の秀峰幌尻岳をのぞみ、緑ゆたかな大地と、茫洋たる太平洋にはぐくまれ、これまで先人のたゆまぬ努力と強い開拓精神を受け継ぎ、町民の皆様とともに、たくましく未来に向かって躍進する住みよいまちづくりを進めてきました。

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動により、世界各地で猛暑や集中豪雨・台風等による自然災害が増加しており、自然環境や生態系への影響等が懸念され、本町では農業や漁業といった第一次産業の影響を特に危惧し、地球温暖化対策は喫緊の課題となっています。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を産業革命以前に比べ2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること」の目標が掲げられ、わが国では、2020年10月に内閣総理大臣表明において、2050年までに温室効果ガスの排出を全体でゼロにする「カーボンニュートラルの実現」を目指す宣言が行われたことに伴い、北海道においても、国の方針と同様、再生可能エネルギーや森林資源などの地域資源活用、脱炭素化を図る「ゼロカーボン北海道」の実現が掲げられました。

本町においては、これまで公共施設の照明や街路灯のLED化、公用車両においてEV車等のエコカーを導入するなど取り組んできましたが、今後も引き続き、様々な施策により二酸化炭素排出量の削減に努めながら、豊かな自然環境を守り、すべての方々が安心して暮らすことができる町づくりを進めるため、町民や事業者の皆様とともに2050年までに二酸化炭素排出量を実質的にゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを、ここに宣言します。

令和7年3月5日

新冠町長 鳴海 修司